

こども未来会議

令和7年9月11日（木）

第15回

こども未来会議（第15回）

＜出席委員＞

（敬称略・五十音順）

氏 名	所 属
秋田 喜代美	学習院大学文学部 教授、東京大学 名誉教授
池本 美香	株式会社日本総合研究所 調査部 上席主任研究員
一木 広治	一般財団法人ピースコミュニケーション財団 代表理事 早稲田大学グローバル科学知融合研究所副所長・研究院客員教授
大谷 美紀子	国連子どもの権利委員会 元委員、弁護士
田中 れいか	一般社団法人たすけあい 代表理事
松田 恵示	東京学芸大学理事、神戸親和大学理事・学長
山本 晃史	認定特定非営利活動法人カタリバ 文京区青少年プラザ b-lab館長

こども未来会議（第15回）

知事挨拶

本日のテーマ

■ 多様な「子供の居場所」創出

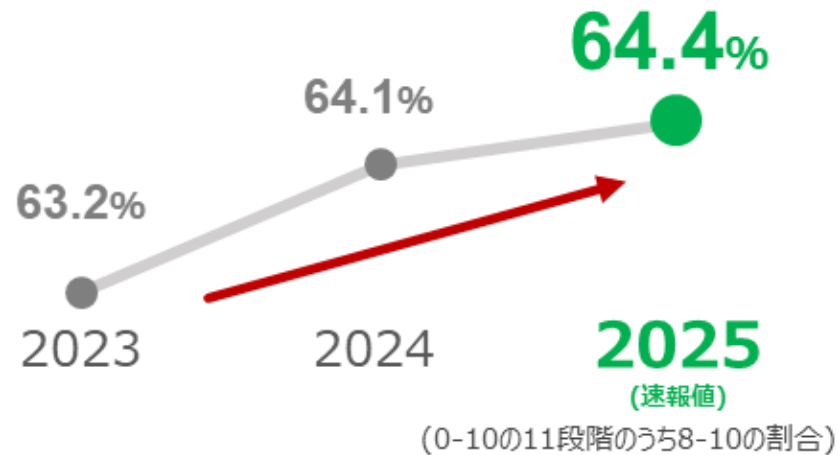
事務局報告

社会環境が変化する中での子供の「今」

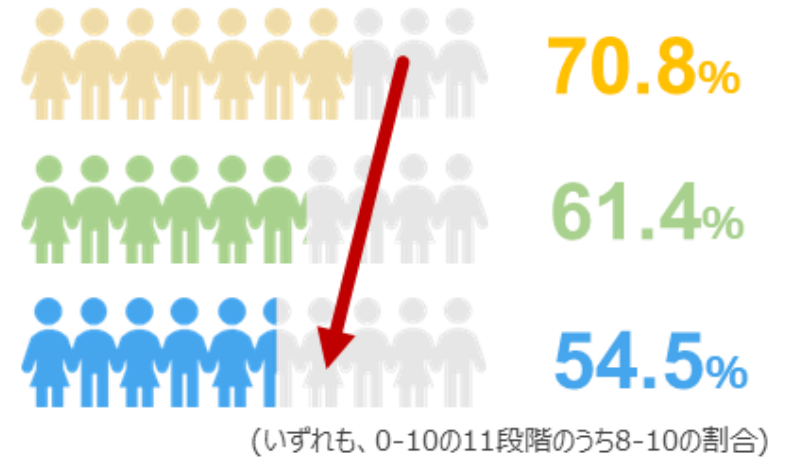
子供の幸福度

東京の子供は、「今の自分は幸せだ」について肯定的に評価している割合が高いが、
学年が上がるにつれて低下傾向

「今の自分は幸せだ」



小学生 (小3・小5)
中学生 (中2)
高校生 (17歳)

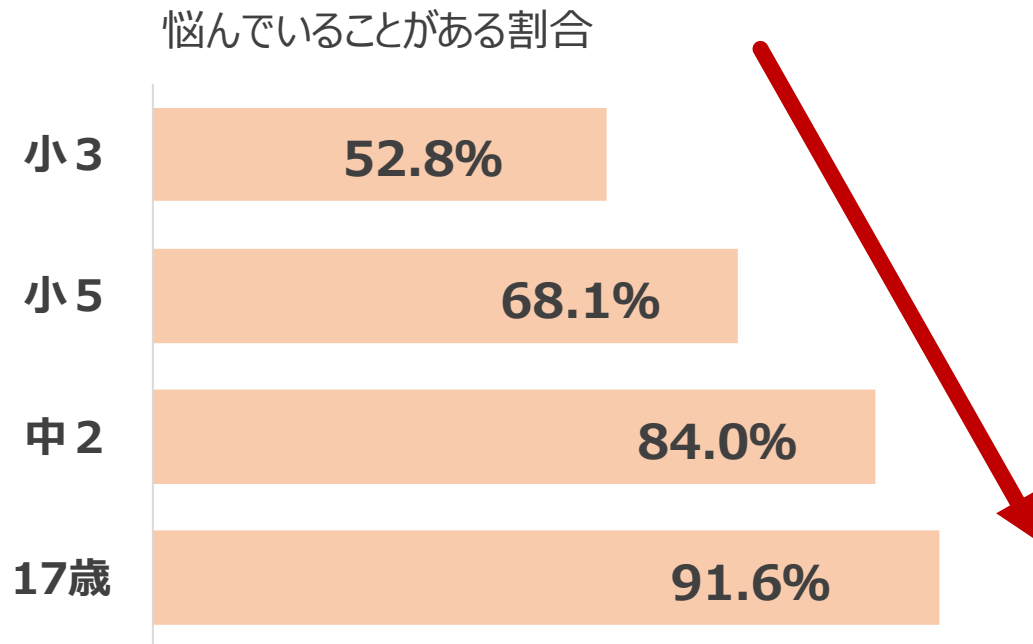


社会環境が変化中での子供の「今」

子供の悩み

学年が上がるにつれて悩みを抱える割合は高い

「あなたは今、悩んでいることはありますか」



【今悩んでいること・上位5項目（学年別）】※複数回答

【小3】	
勉強に関すること	20.9%
将来に関すること	18.4%
ニュースに関すること	15.9%
友達に関すること	13.2%
お金に関すること	11.5%

【小5】	
勉強に関すること	35.2%
将来に関すること	25.4%
友達に関すること	19.3%
ニュースに関すること	19.0%
塾・習い事に関すること	18.2%

【中2】	
勉強に関すること	63.0%
進学に関すること	33.7%
将来に関すること	36.0%
友達に関すること	30.1%
お金に関すること	23.2%

【17歳】	
勉強に関すること	70.4%
進学に関すること	55.8%
将来に関すること	40.6%
お金に関すること	26.9%
友達に関すること	26.2%

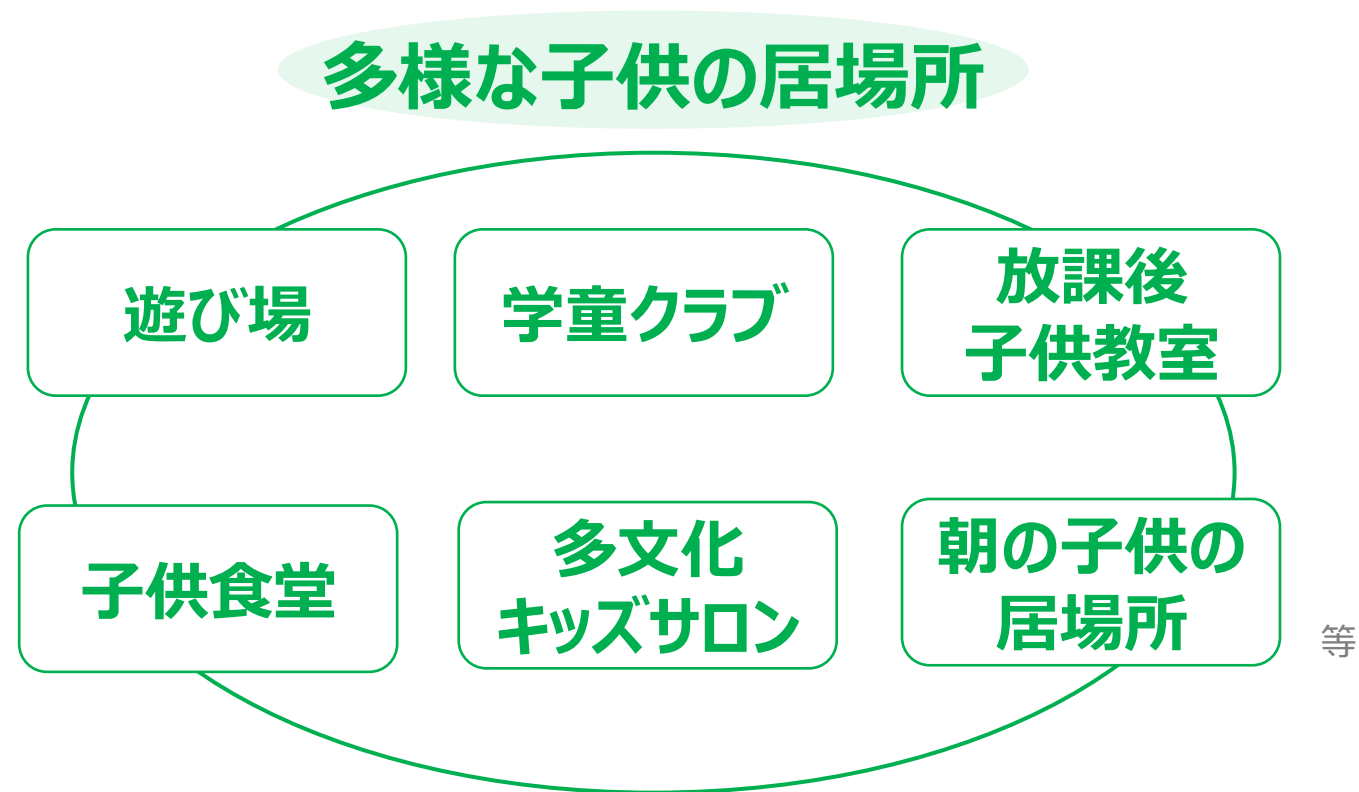
子供の居場所と幸福度等の関係

自宅以外の居場所がある子供は、幸福度や自己肯定感などが高い傾向

	自宅以外の居場所 ある		自宅以外の居場所 ない
幸福度	8.06		7.13
生活満足度	7.86	>	6.93
自己肯定感	7.16		6.49
自己有用感	7.04		6.33

様々な形での「子供の居場所」創出

都では、子供の多様なニーズを踏まえ、区市町村等と連携し、
子供の居場所を様々な形で創出



子供の居場所 区市町村との連携事例

世田谷区

砦地域外遊び拠点事業

- 子供が自然の中で自由に主体的かつ創造的な外遊びができる場を整備
- 豊かな自然を活かした学習ができるプレーパークリーダーハウスを整備



2025年3月に完成した
プレーパークリーダーハウス



工作遊びの様子

【子供の意見の反映】

- 子供から出た様々な「やってみたい」が実現できるよう、フリースペースを広く確保

東久留米市

こどもとともに作る安全・安心なこどもの遊び場・居場所づくり事業

- 「ボール遊びのできる公園」を市内3か所に設置（※2か所は設置済。1か所は来年度設置予定。）
- 障害の有無に関わらず、安心して一緒に遊び、学ぶことができるインクルーシブな広場を整備



ワークショップの様子



2025年2月に完成したボール遊び場
“しあわせ広場”

【子供の意見の反映】

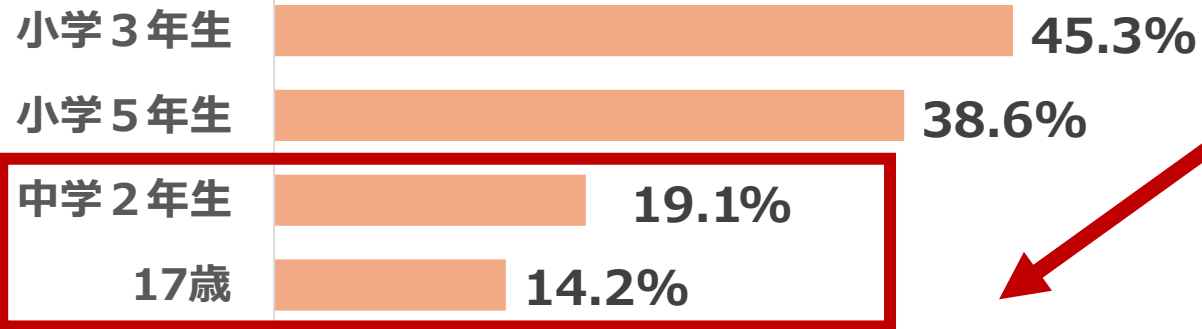
- 市内の小学3年生から6年生たちが参加したワークショップを開催し、参加者の意見をもとに整備

中高生の居場所

中高生にとっては地域の居場所が課題

あなたにとっての居場所（※）はどれですか ※ 「ほっとできる場所」「安心できる場所」

地域（図書館、公民館、児童館、公園など）



（資料）東京都子供政策連携室「とうきょう こども アンケート」2025年調査の速報値を基に作成

児童館は遊ぶものが幼児向けが多く、中学生になったら、つまらなくなった

（中学生@児童館）

中高生だけの場がない

（高校生@プレーパーク）

【都内の子供の主な地域の居場所（施設数）】

小学生	児童館（585）、学童クラブ（1,981）など
中高生	青少年教育施設/ユースセンター（28程度）など

東京都福祉局「令和5年度東京の児童館実施状況」及び「令和6年度東京の学童クラブ事業実施状況」並びに東京都教育委員会「令和6年度教育行政基礎データ」を基に記載

中高生の居場所 海外の事例

海外では、ユース向けの居場所づくりに取り組む都市も存在

	ユースの居場所（施設数）	15歳～18歳の人口	1施設当たりの中高生世代人数（試算）※
ベルリン	・ユースセンター（413）	約10万人	約240人に1施設
東京	・中高生プログラムのある児童館（351） ・青少年教育施設/ユースセンター（28程度）	約42万人	約1,100人に1施設

※施設利用対象者の範囲にかかわらず、中高生世代の人数で算出

（資料）東京都福祉局「令和5年度東京の児童館実施状況」及び東京都教育委員会「令和6年度教育行政基礎データ」を基に記載

【ユースの放課後の過ごし方】

ベルリンではユース世代の子供たちが、自分たちの意見や関心が反映されたユースセンターで、放課後に芸術やスポーツを自由に楽しんでいる。



中高生の居場所 都内の事例

- 都内には中高生の居場所を提供している施設も存在
- 開設にあたり中高生の意見を反映し、完全防音のスタジオやスポーツができる場所を完備

①杉並区立児童青少年センター（ゆう杉並）



- 1997年開館。
- **利用者自身の声**を生かすため「**中・高生運営委員会**」を設置。より良い中高生の施設を目指して活動

②調布市青少年ステーションCAPS



- 2003年開館。
- **中・高校生世代の実行委員**が**イベント**を企画・実行

プレゼンテーション

本日のテーマ

■ 多様な「子供の居場所」創出

こども未来会議（第15回）

知事挨拶

こども未来会議

令和7年9月11日（木）

第15回